

学校通信 強い網

2018年3学期号

新版 第93号

編集

駿台甲府高等学校

駿台甲府中学校

駿台甲府小学校

本年度を振り返って

駿台甲府中学・高校校長 八田政久

卒業に添えて

この3月に卒業を迎えられる児童生徒の皆さん、ならびに保護者の皆様、心よりお喜び申し上げます。

小学校を卒業する児童の皆さんは今井キャンパスから塩部キャンパスへ学び舎が変わります。駿台甲府での後半戦に向けて頑張つていきましょう。中学生の皆さんは義務教育を終えて中等教育後半戦となります。より深い知識の習得に努めて下さい。高等学校を巣立つ皆さんは、駿台で学んだ経験を最大限に生かして、さらなる高みを目指して下さい。これからの社会は「主体性とコミュニケーション能力」が重要と言われています。深い知識に基づいた総合的な判断力を磨いてください。ただし、周囲の意見に耳を傾けることを忘れないでください。将棋界のレジエンドである羽生善治さんの言葉である「超一流は人の話を聞いて工夫する」を送ります。校訓である「チャレンジングスピリット」をあらゆる場面で発揮してくれることを祈っています。

塩部キャンパス整備事業報告

事業計画から3年の月日をかけて新中学棟が完成いたしました。

白とブルーを基調とした新校舎は、新しい時代に向かって行く駿台グループの決意の表れです。内装は各階ごとにコンセプトを持った花で表現されています。1階はフロンティアホールを中心としてすべての生徒の土台となる駿台ブルーを基調としています。2階は1学年のHR教室および職員室があり、「冷静」を花言葉に持つ山梨県花フジザクラで彩られています。3階は2学年のHR教室で、「慈愛」を花言葉に持つピラミッドアジサイ、4階は3学年のHR教室でビオラの花言葉は「謙虚」です。特別教室が入る5階はバンジー、花言葉は「思慮」です。6・7階は450名が収容出来る大ホールです。バラとアルストロメリアで彩られており、「情熱」から「幸福」へと昇つていきます。体育館には空調を完備し、トレーニングスペース2か所とランニングコースも設置しました。私たち教職員は「花言葉」の示す心を持って生徒達を導いていく所存です。

多くの皆様からご支援を頂き、このような素晴らしい施設で生徒と共に学習できますことに感謝申し上げます。



特集 卒業

皆様の善意に助けて頂いた3年間

高校普通科 3学年主任 平岡真人

時の経つのは早いものです。思い起こせばもう約3年前、37期生の入学式の最中、あがり性でうっかりミスの多い私は、悪い胸騒ぎを抱いて式に臨んでいました。そして、訪れた初めての保護者の皆さまへの挨拶の時、その悪い予感的中し、つまらないミスを連発させた学年通信をお渡しすることになってしまいました。その後も、様々な失敗をしてしまった事、この場を借りて改めてお詫び申し上げます。

しかし、その私の、同僚の、あるいは、成長過程でどうしても様々なことを「やらかして」しまうこともある37期生のミスや過ちに対し、保護者の皆さまが、心温かく対応して頂いたことに、厚く感謝申し上げます。

(多くの保護者の方から、「学校・あるいは37期生が原因で起こったこのトラブルは、悪意で起こされたことではないと思う。ここはぐっと堪えて、長い目で見ていこうと思います」という、寛恕の気持ちに満ちた言葉を多く頂きました)(また、学年保護者会でも、のどかさを含んだ楽しい雰囲気を作って頂いたおかげで笑いが起こることが多く、八田校長からは、「この学年の保護者会、自分が喋りに来るという方も多くの保護者がにこにこして、笑っている方までいる。お前はいつた何をやっているんだ?」という疑念ま

で持たれることになりました)

3年間、本当に色々なことがありました。最初は稚拙ないたずらも多く、大変でした。例えば、外部の中3生が来る重要な試験が行われる前日に教室を巡回していた所、ポケモンのシールに覆われている時計を見つけ、K先生と二人でシールをはがしていた時には、本当に絶望的な気分になりました。しかし、37期生保護者の皆さまのまさに「愛情教育」を受け、すくすくと成長した生徒諸君は、学業面でも部活動でも、はたまた本校には部活動はない競技でも、本当に活躍してくれました。37期生の成し遂げた様々な業績が、38期生以降の後輩にも受け継がれ、本校生徒がさらに輝ける成果を生み出していくことを確信しています。

発行の遅さでご迷惑をおかけした学年通信の題は「Discovery(仲間間の良さを『発見』し、素晴らしいサラダボウルを作ろう)」でした。ぜひ、卒業後も、Look back(高校時代の辛くも楽しく、充実した思い出を振り返り、未来への力に変える)を続けて下さい。そして、これからも、Look around(37期生の仲間の良さをこれからも見続ける)、そして、末永く仲間との繋がりを持ち続けて下さい。ぜひ卒業後も精進を重ね、さらに知性・運動能力の向上を図って下さい。20余年後、この期から文化講演会の講師となる有益な人材が輩出されていくことを確信しています。3年間頂き続けた保護者の皆さまのご協力、本当に有難うございました。

気づき

美術デザイン科 3年担任 四條朋恵

私も高校生の時、今の3年生と同じように2月から自由登校でした。一人暮らしのために家事をできるようにしようと思ひ、母に家事を教えてもらうことにしました。お手伝いはほとんどしたことがない子どもだったので、多少料理はできたので、他の家事もすぐこなせるだろうとその時は考えていました。

まず何より苦戦したのが洗濯でした。思ったよりも洗濯機のボタンが多く、洗剤の投入口もいくつかあったので、一回では覚えられず何度も教えてもらいました。また、うちは5人家族のため洗濯物の量が多かったので、何度か洗濯機を回しました。そして洗濯の合間を縫って、掃除・片づけ、母がお昼に職場から一度戻るので、昼食を作って等と忙しく動き回っていました。結局、午前中はそれで全てつぶれてしまい、午後にはへとへとになっていました。6日目にはとうとう限界を迎え、少しづつペースが落ちていきました。

「私の考えが甘かった。」、「こんなことで一人暮らしができるのか?」、「母は仕事をしながらこんな家事をこなしていたのか」と様々な思いが巡りました。頭ではその大変さを分かっていたつもりだったので、実際にやってみると、重労働だということが実感をとまなつてわかりました。

私が毎日、寝て、食べて、学校に行つて、当たり前のように生活ができる

のは、私が意識していないところで、家族や友人等必ず誰かが支えてくれているからなのだと思います。

人間誰しもがそうですが、忙しかったり、一つのことが気になったり、嫌なことがあったりすると、自分だけかなんだが大変で、不幸な感じがしてしまいます。そして周りには優遇されて、幸せそうにしていると心のどこかで妬ましく感じてしまう生き物です。でも本当にそうでしょうか。きつと気づいていないだけで、本当は色んな人に支えられて、大切にされています。もし、自分だけが...と思うときは、それは周りに何かが起きているのではなく、自分の中に何かが起きているものです。

これから様々な人々と関わりながら、もつともつと広い世界で過ごしていきます。今自分の周りにおける人や物、環境、それはどんなものであっても自分自身を支えている、構成している大事なものです。

ぜひ、これから多くの気づきができる人になって、周りのことも、自分のこともより大切にできる人になれるよう願っています。



三月

中学校 3学年主任 鹿山さおり

3月は卒業シーズンです。高校の卒業式に始まり、中学校、小学校とリレー形式で厳かな式典が行われます。と同時に、駿中・駿高では「修学旅行」のシーズンでもあります。中学では広島・京都を訪れる貴重な経験ができますし、また高校では沖縄やアジアの諸外国の文化を体験することが出来ます。

一昔前まで、「修学旅行」といえば神社仏閣を巡るのが一般的でしたが、最近ではドイツ・ノルランド周遊やスキー旅行なども珍しくなくなりました。各学校で趣向を凝らし、独自のコースで特色を出しています。もちろん、海外旅行もその一つです。

唐突ではありますが、私が中学時代に経験した、一風変わった修学旅行を紹介したいと思います。まず、当時の市内の中学校では5・6月に修学旅行に出かけるのが定番でしたが、何故か3月。理由は、他校と時期が重なり、旅行先でトラブルを起こすから、ということでした。

そんなこんな理由でしたが、現地では粹な体験をすることができたのです。一日目の夜は奈良に宿を構えて、夕食を済ませた一行は、徒歩にて東大寺へ。東大寺ではこの時期、通称「お水取り」と呼ばれる行事が行われていました。

正確には二月堂で行われている修二会（しゅにこの行事の一つのことを指しているようですが、この行を勤める練行衆（れんぎょうしゅう）の道明かりとして、毎晩7時に長さ約7mもの籠松明（かごいまつ）とい

う大きな松明を童子（どうじ）と呼ばれる人がかつぎます。その松明の火を明かりとして練行衆は二月堂のお堂へ入っていきます。お堂を見上げる観客に松明の火の粉が飛び散るのですが、その火の粉を浴びると健康になる、あるいは幸せになると信じられているようです。

山梨からの中学生の団体は、この行事に参加したわけですが、降ってくる「火の粉」にキヤーキヤー言いながら、知らないおばさんに抱き着いたことをはつきりと覚えていきます。

そんな神聖な夜を過ごした翌日、出発のロビーでは先生たちによる抜き打ちの服装検査がありました。無情にも「アウト」を宣告された生徒はジャージへの着替えを命じられ、次の訪問先の京都の街をジャージで闊歩するという不思議な光景。もちろん、集合写真も、ジャージ、ジャージ、制服、ジャージ……といったまだら模様になっていました。当時のジャージには、親切にもお腹の部分に名前が書かれたゼッケンがついていて、京都の人に「鈴木」や「山本」といった個人情報も駄々洩れとなる始末。平成の今であれば、きつと教育委員会のお偉方が頭を下げたような事案かもしれませんね。

さて、3月にお水取りのニュースが流れますと春の訪れを感じさせるのと同時に必ず「修学旅行」と「卒業」の二文字が頭に浮かびます。3月はそんな思い出深い、感慨深い月です。

平成最後の年、お松明を道明かりとして24期生が学び舎を巣立っていきます。みなさんの上に降る見えないお松明の火の粉が、きつとみなさんを幸せにしてくれることを願っています。

感謝の心を胸に12期生

小学校 6学年主任 望月一志

私と12期生の出会いは5年生の4月でした。高学年になり、少しずつ大人の階段を上りかけているものの、まだまだ周囲のことまで気は配れず、マイペースにつき進む子もいれば、一生懸命声を出し、皆をまとめようと頑張る子もいて、個性豊かな12期生の顔が、つい最近のように思い出されます。

5年生がスタートして学級長・副学級長を決める際には、10人以上の立候補者が出るなど積極的な面には驚かされました。そんな12期生が6年生となったとき、駿台甲府小学校の最高学年としての気持ちを持たせるため、今年1年の学年テーマとして『感謝』を掲げました。12年間育ててくれたお父さんやお母さん、6年間を共に一緒に過ごしてきた仲間や学校、さらには地域の人々に対する感謝の思いを胸に、6年生をスタートさせました。一つの目標を皆で意識して取り組むことは、周りの児童と刺激し合い、個人の気持ちや能力、集団としての意識を高めるためにも必要なことだと思います。

その為に、『感謝』という2文字の漢字を「ありがとうございます」のひらがな10文字で表し、学年のシンボルとして気持ちの一つになるようにしました。

また、小学校生活最後の1年となる6年生は例年と同じく第2棟でしたが、小学校リニューアルのため、5月頃ひだまりに仮設教室ができました。低学

年が近くにいる、普段とは違う環境にも関わらず最高学年らしい落ち着いた生活を送ることができました。

一昨年からは北海道になった修学旅行では、一生に一度あるかないかという経験をしました。9月6日（木）午前3時7分59秒に北海道胆振中東部を震源として地震が発生。最も高い震度は7を記録する大きな地震でした。震源地から離れていた分、児童たちが滞在していた道東では、大きな被害はありませんでしたが、北海道全域で停電となりました。私たちの日程も変更をよぎなくされ、保護者の方には多くの心配をおかけしましたが、アイヌ文化に触れたり、北方領土を実際に目で見て確かめたり、世界自然遺産である知床半島でハイキングやトレッキングをして北海道の中でも手つかずの自然を体験したことは、子供たちにとってかけがえのない大切な思い出となったことでしょう。そして、今回のような大きな災害が起こる中で、落ち着いた行動を取り、4日間の行程を無事に終了して帰郷することができた子どもたちの姿に、私は成長を感じています。

4月からは、中学生になります。塩部中学校新校舎の第1期生となる12期生。元号も変わる、何かと新しい年の挑戦者となります。失敗を恐れず、駿台甲府小学校の新たな歴史を刻んできた12期生の誇りと『感謝』の気持ちで胸に新たなステージでの活躍を期待しています。

最後に、保護者の皆様をはじめ、多くの方々のお力添えに感謝申し上げます。ありがとうございました。

駿台甲府中学校新校舎建設

寄付金者一覧

駿台甲府学園の寄付金募集にご賛同
いただきまして誠にありがとうございます。
2月21日までに、駿台甲府中学
校新校舎建設事業に対しまして「寄付
を頂いた方の御芳名を掲載いたします。
なお、寄付金のお申込の際、本稿への
掲載に「金額のみ掲載」「希望しない」
または、「未記入」の方につきましては、
匿名とさせていただきます。また、
教育振興資金・スポーツ振興資金
にご寄付いただいた方々につきましては、
は、ホームページにて掲載させていた
だきます。(五十音順 敬称略)

【小学校 保護者】

赤羽弘賢、飯室允敬、池田裕、板山浩
貴、小澤健太郎、菊嶋文崇、佐野圭太、
朱浩、瀧島勲、長倉一紀、深澤金彦、
福嶋敦子、藤原満、門馬明子
匿名 14名

【企業・法人】

(株)アイファーマ、(株)明石スクールユニ
フォームカンパニー、アルプ(株)、エス
エイティーティー(株)、(株)オギノ、(株)K
ATEKYO静岡・山梨、関東通信シ
ステム(株)、(株)共立メンテナンス、(有)ク
リーンアシスト、(株)小泉中部、KON
DO(株)、(医)再生会あいざわ歯科クリニ
ック、(株)三機堂、山日YBSグループ、
(株)少國民社、昭和測量(株)、(株)末木組、
(学)駿河台大学、(株)駿台教育研究所、駿
台教育振興(株)、駿台教育センター(株)、
駿台国際教育センター(株)、駿台文庫(株)、
(有)タカノ貴石工芸、高橋商事(株)、瀧本
(株)、(株)タナアミスポーツ、(医)田辺産
婦人科、(株)徴古堂、(医)帝昌会井上内科
小児科医院、寺井木材(株)、(株)図書館流
通センター、(医)なかじま胃腸クリニック、
西東京観光バス(株)、長谷川体育施
設(株)関東支店、(株)マツムラ酒販、
(株)ムコヤマ、むろい(株)、山下総業(株)、
(株)山梨シール印刷、(株)山梨・新興徽章、
(株)ユニヴァーサル、竜王ゴルフ練習場、
(株)YBS T&L
匿名 4名

【卒業生・一般・その他】

青木辰貴、石川種俊、石川楠緒子、内
田昌子、遠藤実、大久保正博、大島保、
野村雄一、花輪守彦
匿名 19名

勝久寿、加藤良平、小林弘和、小林寛
樹、駒井均、三枝幹弥、齊藤日菜、齊
藤友萌、佐藤一義、佐藤吉冲、佐野貴
大、塩見遥香、塩見真由、塩見隆造、
志村達也、高井一光、武井宏太、武田
伸策、竹田真也、田中滋、津久井雄也、
寺田信生、内藤隆幸、内藤拓真、永川
淳、中澤篤人、長澤泰史、中澤吉博、
野中利通、野々垣健五、樋口惇一、平
井彩、藤原弘、冬頭真司、古屋俊仁、
保坂裕貴、丸山伊織、三神慧子、三神
隆史、水越正高、三井啓輝、宮川利彦、
武川洋太、村上舜司、望月豊孝、森澤
宏行、山下修平、山下徹、米山大輔、
駿台甲府高等学校普通科同窓会
匿名 15名

【駿台グループ職員】

秋葉広光、天野剛、稲川久美子、稲川
知也、植田達也、上沼弘之、小宮山喜
仁、坂本昌文、杉本伸司、鈴木英司、
竹内昇、樋田稔、富沢高弘、豊田基行、
中西保、中村悟一、中村泰弘、畑迫亮、
星野忠明、松縄史朗、宮辺正大、森澤
慶一、山崎良子、山田一貴
匿名 17名

【駿台甲府学園教職員】

赤池洋子、浅川直哉、石川博、板山武
久、岩堀大介、上田恭平、上原雅志、
内山晶夫、大須賀学、大隅亜希子、大
立目健太、小笠原理、小笠原達也、河
西さち、金山千春、河崎哲郎、奥石修
蔵、小高淳、小西静穂、近藤宇将、齊
藤昌一、齊藤夏生、酒井徹哉、酒井竜
次、坂本哲雄、坂本宏行、佐々木英憲、
佐野誠、塩江惠美、嶋津由希、正治徹

也、田口浩一、筒井揚介、富樫正博、
内藤真一、内藤伯哉、中村圭世、中村
慎介、中村幸央、新田真也、萩原理恵、
羽澤健、長谷川智子、長谷川亮太、羽
田昌樹、八田政久、八田政史、半田博
志、平岡真人、藤川泰彦、保坂明子、
堀内亮、益田耕治、益田旬古、武川公
貴、村松友里、矢澤文朗、山岸なぎさ、
山岸航、山口倫明、山下潤、山下敏伸、
若林秀則、渡邊和哉、渡邊ふみ
匿名 28名

引き続き、寄付金の受付をしてお
ります。今後、ご寄付をいただいた方々
の御芳名はホームページにて掲載させ
ていただきます。

○目的

駿台甲府中学校新校舎建設に係る諸
費用、施設・設備充実のために充当い
たします。

○募集口数

・個人 一口 一万円
・法人 一口 十万円

(複数口でご協力頂ければ幸いです)

○申込方法
募金趣意書・またはホームページに
掲載しております。(銀行振込他・ク
レジットカード・コンビニ支払・ペイ
ジーによる決済が可能です)

【お問い合わせ先】

〒400-0026
山梨県甲府市塩部二一八一
学校法人駿台甲府学園
法人局総務部
TEL 055-251-5584